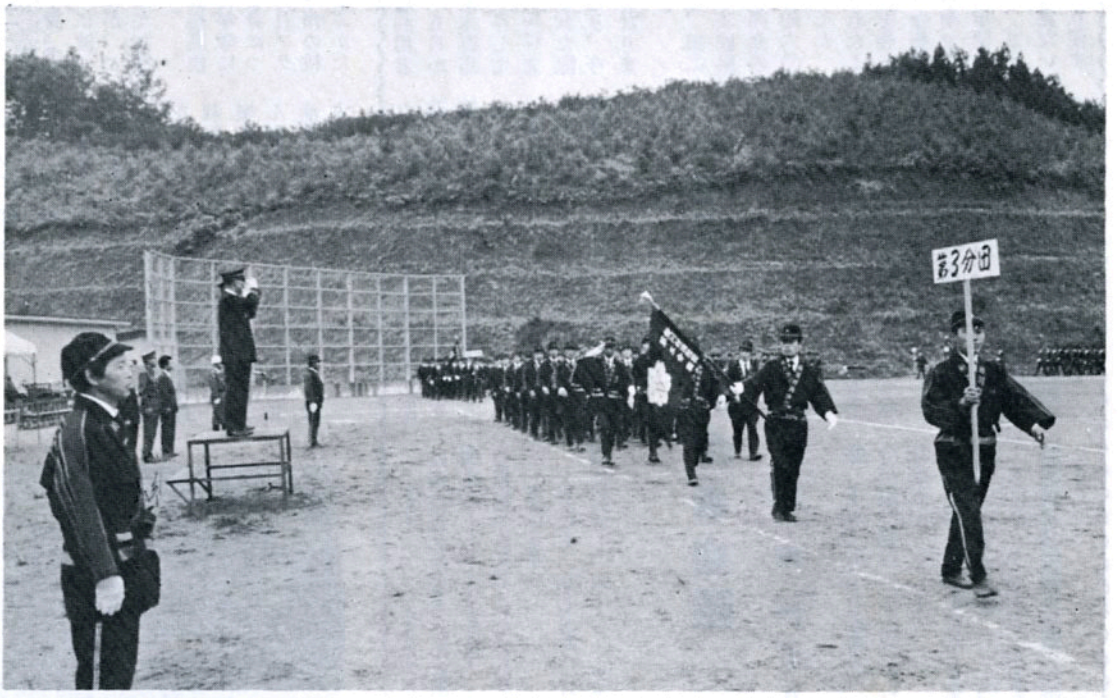
広報
さめがわ

昭和50年
10月号
No.263
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町 佐藤印刷所



防災の守り…… 消防団堂々の分列行進

10月3日消防の日に恒例の消防団検閲が村民運動場で行われました。

この日蛭田藤留団長以下304名の団員は午前7時30分壇の岡橋の附近に集結、堂々の市内行進を起こして会場に入り、管内第一と定評のある厳正な規律のもと、分列行進、通常点検、規律訓練閲団等の行事をキビキビした動作で展開し、村内外の多数来賓から賞賛の拍手が送られました。

- ⊙ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ 5日　交通事故相談日　（白河地方行政連絡室）TEL白河(2)1550
- ⊙ 第28回鮫川村文化祭　11月21、22、23日
- ⊙ 第3日曜日は『家庭の日』

今月の人口

（10月1日 現在）

人口	5,994	（－ 3）
男	3,001	（－ 3）
女	2,993	（ 0）
世帯	1,171	（＋ 2）

ブラジルから二〇年ぶりの珍客
官沢出身の金沢長寿さん

一九歳の若さでブラジルに渡つた官沢出身の金沢長寿さんが、このたび二〇年ぶりに帰郷して村長室を訪問されました。

金沢さんは県立東白川農商高校を卒業後、県の産業開発青年隊に入隊して農業開発の技術を身につけられ、昭和三〇年の一二月ブラジルに渡航してサンパウロ州の桃栽培農場に入り、実技を学ぶかたわら現地の農学校夜学部で農業の勉強を続けた篤学の人です。

その後七・五ヘクタールの土地を手に入れて独立し、現在は花卉栽培中心の園芸農業で成功され、奥さんの照代さんと四人のお子さんともども楽しい異郷での農園生活を送つておられるということです。



お知らせ

不燃物ゴミ収集は一時中止

先に回覧文書等でお知らせしましたが、不燃物ゴミの投棄場所に火災が発生し、現在も燃え続けております。このため不燃物ゴミの収集が不可能となり、当分の間収集を中止することになりましたので、収集指定場所に搬出しないようお願いします。

なお燃えるゴミは従来どおり収集しますが、不燃物は環境衛生上支障のない山林など（自分の土地）に穴を掘つて埋めるなどして、川や河川敷、道路や住家の近くには絶対に捨てないようにして下さい。

これらのことを守らないと、廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反で罰せられますのでご注意下さい。

おめでた

九月

江竜田　鈴木富男　父鈴木源一
滝ノ下　渡辺裕之　父渡辺照美
青生野　白石孝浩　父白石政敏
広畑　藤田大樹　父藤田洋美
岩野草　根本百代父根本日出雄

おくやみ

九月　年令　世帯主

青生野　長久保ナヲ81　長久保勲
後田中　大竹清一42　大竹日出子
宿ノ入　大河内淳一68　大河内平
酒垂　生田目俊光41　生田目金蔵
反田　船木　トヨ85　船木正衛
戸草　岡部　光義70　岡部　一
大房　吉田多利吉79　吉田元美
西　高坂　アサ62　高坂正雄
大塩　窪木茂幸69　窪木マサ子

おはなしの広み (6)

全国道路利用者会議

村長　石田卯子八

今年の全国道路利用者会議は、一〇月一五日から三日間、茨城栃木群馬の三県を開催地として開かれました。私は先年北海道で開催された際参加したことがあり、今度は二度の参加となりました。

今回の第一日は、第二五回全国大会が水戸市の茨城県民文化センターで盛大に開会の幕をあけ、全国各地から約六〇〇名の参会者が出席しました。

この大会で特に強調されたことは、石油ショックに端を発した総需要抑制で一番大きな影響をうけたのが道路整備事業である。昭和四八年度以降三年間の進捗率は四三％にすぎず、これ程の落ち込みは近年例を見ないところで、この後れを取り戻すために、第七次道路整備事業の昭和五一年度予算は飛躍的な増額を要することが中心的な課題となりました。

更に道路建設のための特定財源となつているガソリン税等自動車関係諸税を一般財源に繰入れようという動きがあるが、これは断乎排除しなければならないという意見も強く議決されました。

このとき一人の発言者が「花の福祉に斜陽の道路」と現在の国政を評して万場の失笑と拍手を浴びましたが、言い得て妙なりという感じがしました。

しかし、万人ともにその利用上の受益者になる道路の整備こそ、国民にとつてはより広くより高度の福祉であるといえるのではないかと思います。

大会は型の如く終り、バス一四台に分乗し、パトロールカーを先導とするこの一大集団は、国道五〇号線（水戸・小山）から視察の行程に入りました。

この日は佐野ＩＣから東北縦貫高速道に入り、北上して西那須野ＩＣに至り、それから主要地方道藤原西那須野線を塩原に進み一泊しました。

第二日は国道一二一号線、一二〇号線を視て金精峠を越え群馬県に入り、月夜野町に開設された県営有料道路を通つてその日の行程を終りました。

第三日は、利根川の源流に添つて南下し、榛名有料道路を視て深みゆく秋の山の湖、榛名湖の風光を賞でる時間も惜しみつつ、南の諸県から来た人たちは高原の寒さにふるえ、前橋から高崎市に来て解散しました。

この間、開催地各県ではそれぞれ一行の歓迎会がもたれ、知事や道路協会長からあいさつがありました。

同じ法律や規程、同じような財政事情で行われる道路行政であつても各県それぞれの特色が生かされており、学び得たものが多かつたことをよろこんだのであります。

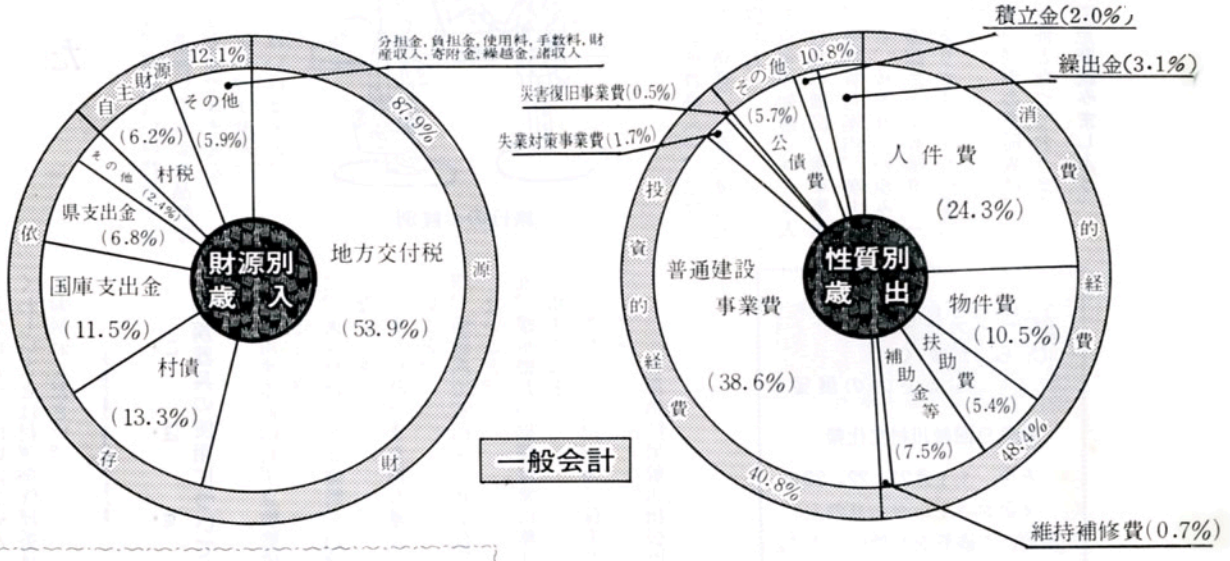
昭和49年度決算総額

8億5千9百万円

昭和49年度鮫川村の一般会計と特別会計は、8月、9月の村議会で認定されました。
決算状況のあらましは次のとおりです。

会計別の決算額総括表　（単位千円）

会計別		歳入	歳出	繰越額
一般会計		729,599	704,138	25,461
特別会計	国保会計	128,727	122,293	6,434
	診療所会計	29,219	28,249	970
	水道会計	4,692	4,332	360
総計		892,237	859,012	33,225



一般会計

特別会計の決算状況

○ **国保会計**

イ、歳入の70.2%（90,424.346円）が国庫支出金、皆さんの負担している保険税は31,070,140円で24.1%となつています。

ロ、歳出のうち保険給付費用が92.2%（112,755,178円）と国保会計のほとんどがお医者さんに支払われています。

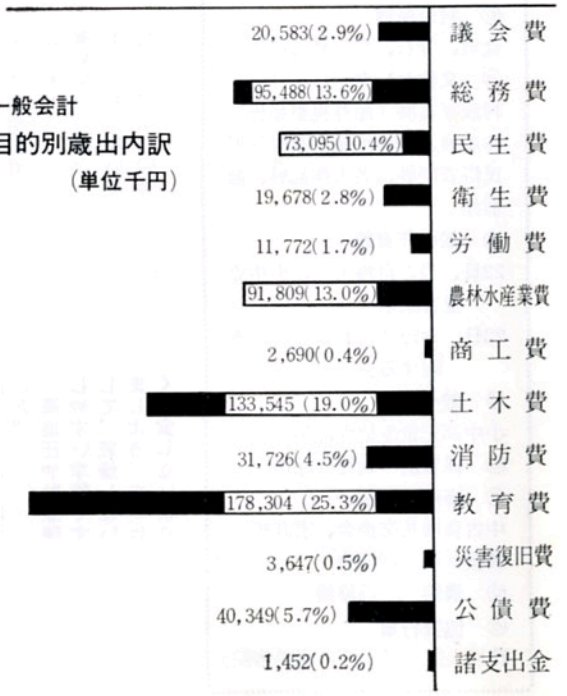
○ **診療所会計**

歳入のうち69 3%（20,235,803円）が診療による収入で、不足分は一般会計からの繰入金（23.1%）でまかなわれ、このうち施設の管理、医療材料、医師、看護婦等職員の給料など施設を運営するのに要する費用が97 7%の支出となつています。

○ **水道会計**

施設利用者からの使用料収入47.6%（2,232,195円）と、一般会計からの繰入金42.3%（1,985,000円）でほとんどまかなわれており、施設の管理費と借入金の償還に充てられています。

一般会計
目的別歳出内訳
（単位千円）



公職選挙法の一部が改正されました

(寄付行為)
政治家や候補者などに、お祭りや運動会などの寄付をねだると法律違反になります

政治家や候補者などは、選挙区内の人に寄付をすることが法律で禁止されました。いついかなる場合でも、また、選挙に関係あるなしにかかわらず、名義がどのようになっていても、お祭りなどの寄付、お葬式の時の花輪や香典、結婚のお祝い金やお祝いの品、お中元やお歳暮、開店祝いの花輪や入学祝い、卒業祝いのお金や品物などを贈ることはできません。

◉贈ってはいけません。
◉求めてはいけません。



旅行のお餞別

◉受けとってはいけません。

くわしいことは村選挙管理委員会にお尋ねください。

ご注意
暖房器具の使用について

一、使用する前に必ず点検整備をすること。
二、火を付けたまま燃料を補給しないこと。
三、火を付けたまま持ち運びしないこと。
四、炬燵内で石油コンロを使用しないこと。
五、暖房器具の周囲は常に整理整頓すること。
六、燃料は必要以上多く保有しないこと。

白河消防署鮫川出張所

健康管理コーナー

突然倒れたとき

◇健康なことは幸福であり
◇幸福であることが健康で
◇ある証拠でもある

★応援を求め冷静に観察を
突然倒れた場合は、応急の手当をすると同時に主治医や救急車等の連絡に当ることが必要です。

まず、意識の有無、呼吸の状況、脈の強弱、熱の有無、吐きけの有無等を冷静に観察することが大切で、医者の往診を頼むときも、ただ「きて下さい」だけでなく、こうした症状をよく説明し、とりあえず応急処置の指示を仰ぐことが大切です。

★脳卒中の場合
①首が曲らないように、頭をやや高くし、楽な姿勢で寝かせる
②ベルトやネクタイ、帯など、からだを締めているものをゆるめる
③吐く場合は、気管に入らないよう顔を軽く横に向けること。
嘔吐の激しいときは、うつ伏せにして腕にヒタイをのせてやる。
④頭を冷やした方がよい(但し脳軟化症の場合は冷やす必要がないので注意を要します)
⑤大声で呼びかけたり、ゆさぶったりしないこと。
⑥部屋をうす暗く静かにして、できるだけ刺激を与えないこと。
便所や風呂場等で倒れ止むを得ず場所を移すときは、頭と首をできるだけ動かさないように、ことに首を前に曲げないよう注意すること。

高血圧や動脈硬化症などが悪化しやすい季節です。室内を暖かくして、乾燥しないように気をつけましょう。また塩分や刺激物を多く飲食しないよう注意しましょう

〈私たちの公民館〉
読書の秋です!

とても暑かった夏の日も遠ざかり、日一日と涼しさがまして来ました。太陽もだいぶかたむき、秋の夜長を読書にふけることはいかがでしょう。

公民館図書のご案内
～今年四月から購入したおもなもの～

元録太平記(上、下)日本の民俗シリーズ(四七巻)重要文化財(一七巻)がんじがらめ、会津落城悲史
氷紋、収容所群島(一、二)ふるさと再発見、一万年後(上下)恍惚の人
ユダヤ五百年の知恵、ユダヤ人の秘密、自我の構図、檻車墨画を渡る、全国旅行案内、美しい心を育てる、政治外交の歩み
県立移動図書館あづま号図書(一一〇冊)もあります(うち児童図書四〇冊)

村公民館の図書の総冊数は、二、三八七冊となっております。

この秋に是非読みましょう。

メーンテーマ
ひらけゆくふるさとの展望
第28回鮫川村文化祭

とき　11月21、22、23日

多数おさそい合わせの上ご参加、ご観覧をお願いします。

＝会場と催し物＝

◎ **村公民館**
盆栽、盆石、生花展、絵画展

◎ **文化センター**
村政写真展(海外視察報告)
特産展、農村地域工業製品展
民俗資料展、老人作品展、逓信館

◎ **鮫小体育館**
22日、のど自慢大会、小中児童音楽祭
23日　お母さんお嫁さんに感謝する会

◎ **鮫小校舎**
小中高児童生徒作品展

◎ **保育所**　幼児作品展

◎ **畜産センター**
中古農機具交換会、家具類、農機具展示即売会

◎ **農協**　農協展

◎ **協賛行事**
花嫁衣裳展(湯座、森美容院)